

# ソフトウェア品質シンポジウム2018 ツール出展のご案内

本シンポジウムでは、ツールの出展企業を募集しております。  
ぜひこの機会に出展をご検討ください。

【ソフトウェア品質シンポジウム2018事務局】  
〒166-0003東京都杉並区高円寺南1-2-1  
一般財団法人 日本科学技術連盟  
TEL: 03-5378-9813 FAX : 03-5378-9842  
E-mail : [sqip-sympo@juse.or.jp](mailto:sqip-sympo@juse.or.jp)  
URL : <http://www.juse.jp/sqip/symposium/>

# ソフトウェア品質シンポジウムとは？

ソフトウェア品質に関わる全ての方々が一堂に会し、現場で役立つ実践的な技術や経験、ノウハウ、研究成果を発表し意見交換を行う場です。さまざまなドメインの方々がオープンな立場で品質向上のために真摯に議論し、相互研鑽や人的交流を行うことを目的としています。

## ソフトウェア品質シンポジウム（SQiPシンポジウム）

- SQiP : **S**oftware **Q**uality **P**rofession  
(スキップと読みます)

SQiPシンポジウムURL

<http://www.juse.jp/sqip/symposium/>

# ソフトウェア品質シンポジウム2018開催概要

- **開催期日：2018年9月12日(水)～14日(金)**  
※9月12日(水)は別料金で併設チュートリアル開催
- **開催地：東洋大学・白山キャンパス(東京都文京区)**
- **主催：一般財団法人 日本科学技術連盟**

- **ツール展示申込期限：**  
**展示コース：2018年7月03日(火)**  
**カタログコース：2018年7月31日(火)**  
※定数に達し次第、申込は締切らせていただきます。

- **プログラム(案)**
  - 基調講演、特別講演、チュートリアルセッション
  - 一般発表セッション(経験論文/経験発表) 30件程度
  - 企画セッション

※プログラムは現在企画中です。決まり次第詳細はWebサイトへ公開いたします。

# ソフトウェア品質シンポジウム参加対象

本シンポジウムは、ソフトウェア品質に関する国内でも有数のシンポジウムであり企業のマネジャーや品質保証部門が多数来場いたします。

## ■ 参加企業/大学(順不同)：

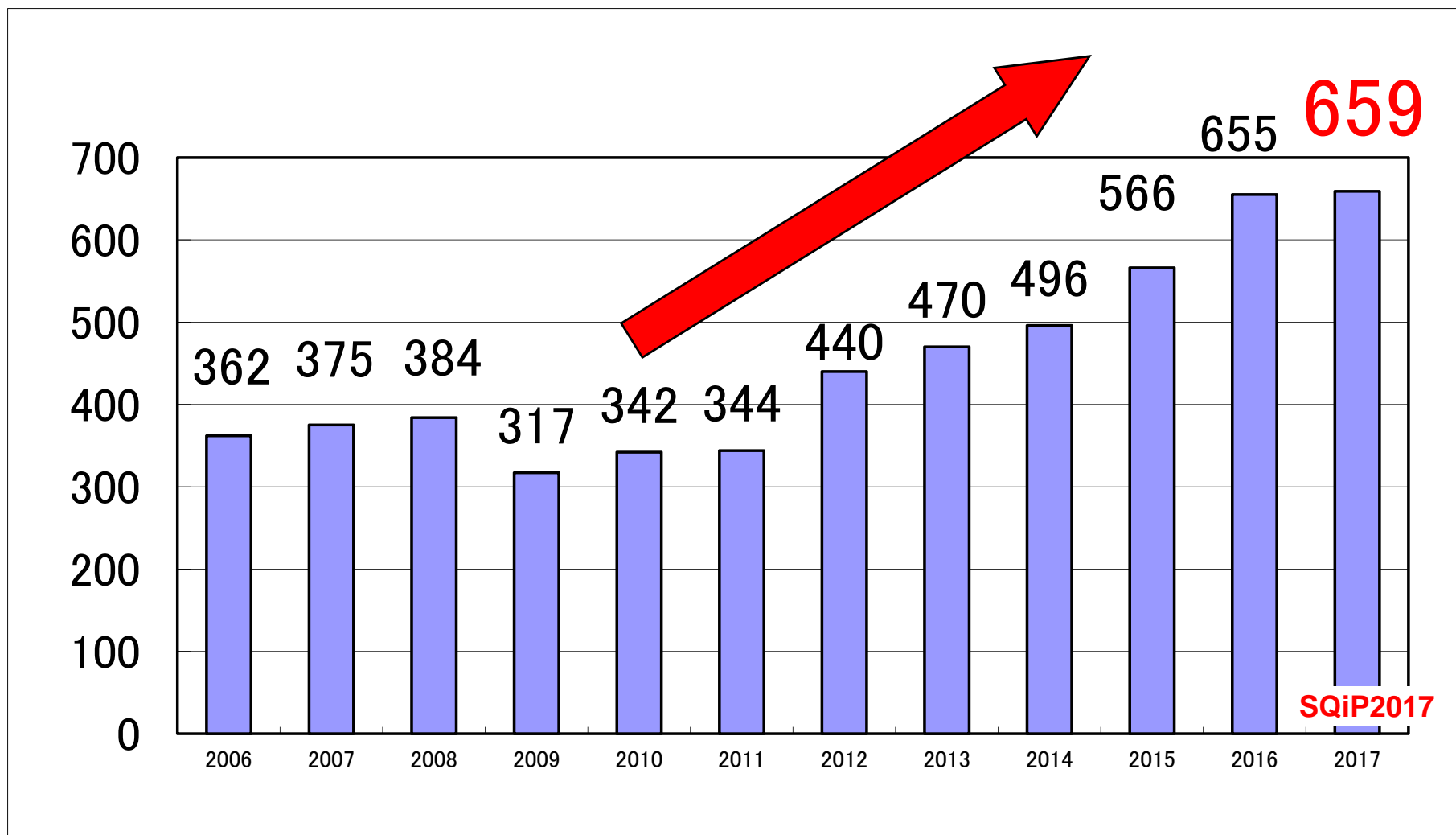
富士通、日立製作所、キヤノン、インテック、三菱電機、NTTデータ、デンソー、日本電気、TISソリューションリンク、JFEシステムズ、NECソリューションイノベータ、セイコーエプソン、ソニーセミコンダクタソリューションズ、デンソーテクノ、SCSK、NTTデータシステム技術、キヤノンファインテックニスカ、デンソークリエイト、マツダ、テックスエンジソリューションズ、テプコシステムズ、アイシン・コムクルーズ、アンリツ、東京海上日動システムズ、パナソニック、ノーリツ、ベリサーブ、アズビル、日本精工、日本電気航空宇宙システム、アイシン精機、エプソンアヴァシス、コニカミルタ、アンリツエンジニアリング、東芝、パイオニア、オムロン、中央コンピュータシステム、日本ATM、野村総合研究所、ワークスアプリケーションズ、トヨタ自動車、ヤフー、富士ゼロックス、ブリヂストンソフトウェア、GEヘルスケア・ジャパン

## ■ 参加者対象：

- － 管理者、マネージャ、スタッフ 等
- － 組込みソフトウェア系(電気機器、輸送用機器、コンピュータ関連等)やエンタープライズ系(ソフトハウス/システムハウス等)といったソフトウェアに関わる様々な分野

# ソフトウェア品質シンポジウム参加者推移（本会議）

ソフトウェア品質に特化した国内最大級のシンポジウムです

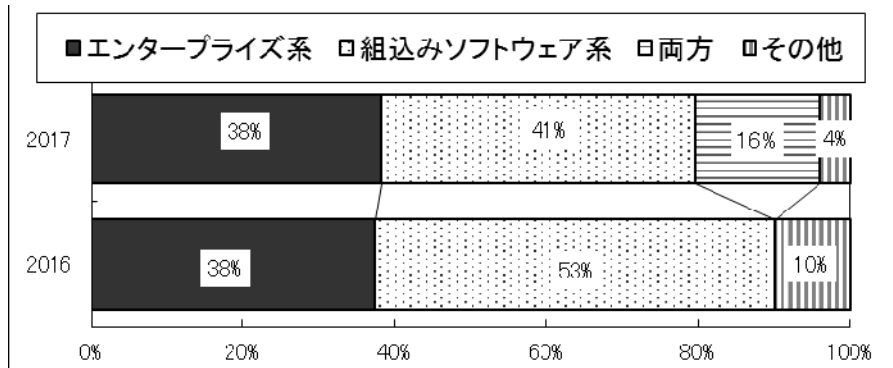


《参加者属性》

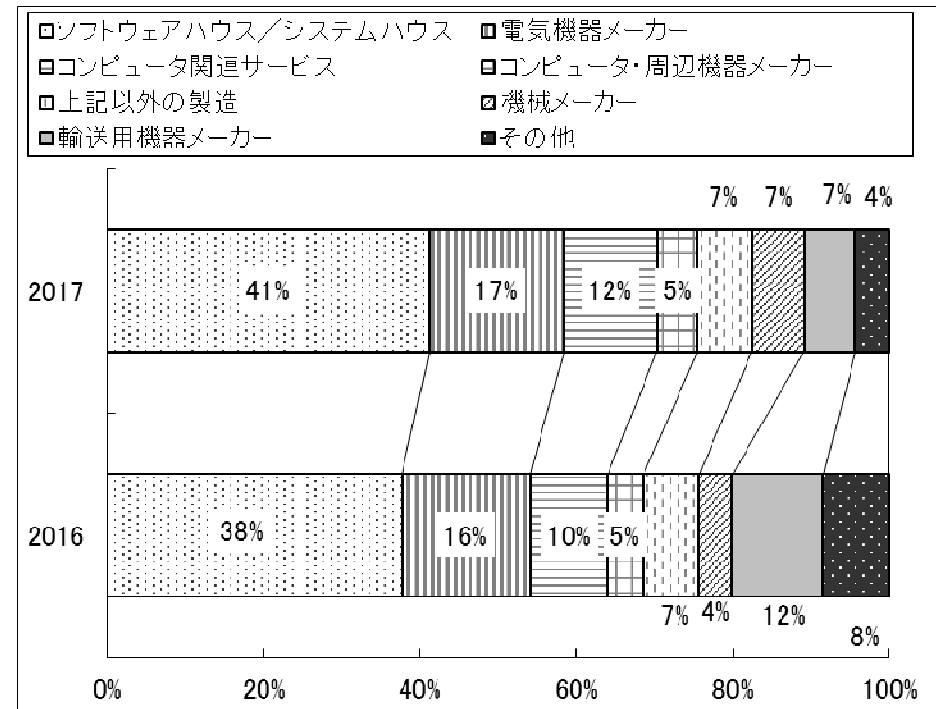
# ソフトウェア品質シンポジウム2017

エンタープライズ系、組み込み系の参加者割合がほぼ同じであり、また、業種のバランスもよく、いずれのソリューション領域も訴求しやすくなっています

対象ソフトウェア領域



参加企業の業種割合

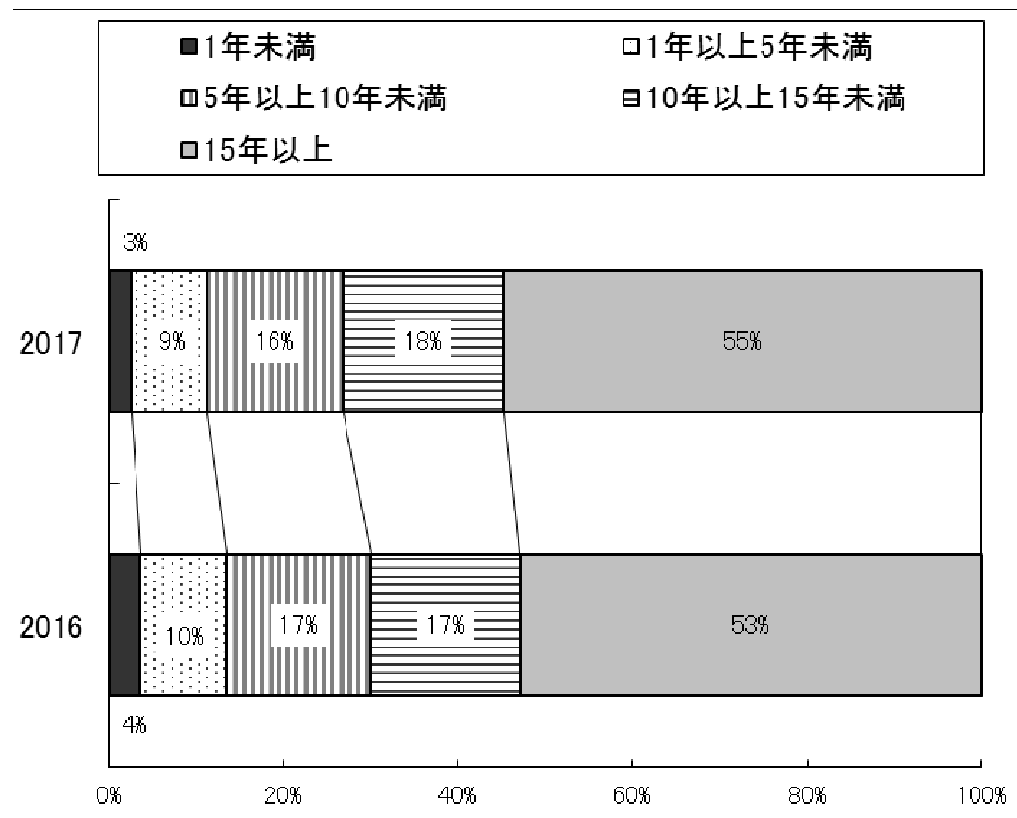


《参加者属性》

# ソフトウェア品質シンポジウム2017

ソリューション導入にあたって発言力の強い、経験年数15年以上のリーダークラスの方、もしくは管理職の方が多く参加されます

## 参加者の経験年数



# ご出展のメリット

## ■ 密度の濃いプロモーションが可能になります

- 来場者には品質保証、SEPG、PMOなどの方が多数いらっしゃるため、ツールの導入を検討・決定する役職の方が毎年多数参加されます
- 日科技連の持つハードウェア系大手企業の品質保証部門への豊富なチャネルにより、国内の他のソフトウェア系の展示会やセミナーに訪れたことのないハードウェア系大手企業のソフトウェア品質保証部門の役職の方の来場も期待されます。
- 展示やデモによる効果の実感、セッションでのご紹介による期待感の向上など、Webサイトや雑誌媒体では伝えきれないツールの素晴らしさを深くご紹介頂けます。
- レベルの高い参加者が多く、コミュニケーションを通じて、さらなるソリューション拡販へのヒントが得られます。



# ソフトウェア品質シンポジウム2017 より



ツール展示ブースの風景



カタログコースの風景



ランチセッションの風景

# 出展料とメニュー

ご出展メニューとして「展示コース」と「カタログコース」の2つをご用意いたしました。各コースの出展料およびメニュー内容は次ページに詳しく記載しております。

- 展示コース : 432,000円
- カタログコース : 54,000円

(展示&ランチセッション)

※コース内容の詳細に関しては、「ご出展メニュー」をご参照ください。

※「ランチセッション」とは、昼食の時間を利用した50分（予定）のツール出展企業様による発表です。

- ・定員100名（予定）の参加者用のランチ は主催者が準備いたします。
- ・**ランチセッション参加者の情報（名刺 / アンケート）を収集することができます。**
- ・今年も好評メニューの「各社様独自のアンケート」を実施いただけます。  
(アンケートフォームは各社様にてご準備ください。)

※会場の関係でツール出展をお受けできる数に限りがありますので、お早めにお申込ください。

# ご出展メニュー

	費用	ランチ セッション※ (先着2枠のみ)	展示	サイト 掲載	資料 同封	報文集 紹介	参加ID
<b>展示 コース (4枠)</b>	432,000円	○  独自アンケート実施 の実施含む	○	○	○	2ページ	3名 (ご招待)
<b>カタログ コース</b>	54,000円	-	○	○	-	1/2 ページ	1名 (ご招待)

※「ランチセッション」とは、昼食の時間を利用した50分（予定）のツール出展企業様による発表です。

- ・定員100名（予定）の参加者用のランチ は主催者が準備いたします。
- ・ランチセッション参加者の情報（名刺 / アンケート）を収集することができます。
- ・今年も好評メニュー「各社様独自のアンケート」を実施いただけます。（アンケートフォームは各社様にてご準備ください。）

※会場の関係でツール出展をお受けできる数に限りがありますので、お早めにお申込ください。

# ご出展メニュー：オプションメニュー

展示コース出展料プラス下記料金にてオプションサービスをご提供します。

	枠数	費用	内容
オプション1： ノベルティ スポンサー	2	200,000円	参加者全員配布のノベルティについて、貴社ロゴを掲出いたします。
オプション2： パーティー スポンサー	2	2018年度 無料 (2019年度以降 予定価格250,000円)	本会議一日目終了後の情報交換会にて ・情報交換会 会場内に、PR用簡易スペースをご提供いたします。 (※参加者への提供品などは各社様にてご用意をお願いします。)

※ノベルティは単価300円程度のものを予定しております

※パーティー参加者は約200名を予定しております

# ご出展に際して

## 展示コースの基本設備(予定)

(1)主催者によるもの

各出展会社に対して、下記の設備・サービスを提供します。

1)ブース (H300cm×W180cm×D45cm)

2)机 (縦90cm×横180cm)

3)椅子(2脚)

4)AC100V電源 (機器の消費電力が全体で制限を超える場合は、別途配電工事が必要となりますので、工事費および電力使用料を、当該出展会社で負担していただく場合がございます)

★2)、3)については不要の場合はお申し付けください。

(2)出展会社によるもの

下記に係わるものは各出展会社のご負担となります。

- ・機材の搬入、搬出 (駐車料含む) ※駐車スペースには限りがあります。
- ・各自ブース内の機器設営
- ・AV機器の手配、説明パネルの作成、掲示
- ・運営に係わる人件費
- ・備品の破損、紛失に係わる費用
- ・カタログスタンドや名刺ケース

★説明用の資料やパンフレットはブース内で自由に配付して結構です。

# 2016-2017年 出展企業一覧

年度	コース	会社名
2017	展示コース	株式会社デンソークリエイト
		株式会社クライム
		株式会社ベリサーブ
	カタログコース	丸紅情報システムズ株式会社
		テクマトリックス株式会社
		株式会社日立ソリューションズ
2016	展示コース	株式会社デンソークリエイト
		株式会社アドックインターナショナル
		株式会社クライム
	カタログコース	テクマトリックス株式会社
		株式会社日立ソリューションズ

# ソフトウェア品質シンポジウム2018 後援／協賛

- 後援：独立行政法人 情報処理推進機構
- 協賛：NPO法人 スキル標準ユーザー協会  
アジャイルプロセス協議会  
NPO法人 組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会  
高品質ソフトウェア技術交流会  
一般社団法人 情報サービス産業協会  
一般社団法人 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会  
全国ソフトウェア協同組合連合会  
ソフトウェア技術者協会  
一般社団法人 組込みシステム技術協会  
一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会  
一般財団法人 日本情報経済社会推進協会  
一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会  
一般社団法人 日本品質管理学会  
日本ファンクションポイントユーザ会  
一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会  
派生開発推進協議会  
日本信頼性学会  
日本S P Iコンソーシアム  
NPO法人 ソフトウェアテスト技術振興協会  
エンタープライズアジャイル勉強会  
一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会

# 《過去の実績》

## ソフトウェア品質シンポジウム 基調講演／特別講演

年		タイトル	講演者(敬称略 所属、役職は講演当時)
2017	基調講演	忘れていませんか？ コミュニケーションに係わるヒューマンファクター ～自らエラーをしようと思っている人間はいない！～	塚原 利夫 氏 日本ヒューマンファクター研究所 取締役副所長 兼 教育開発研究室長
	特別講演	セブン-イレブンの総合情報システム 「近くて便利」を支えるシステム構築と品質	粟飯原(あいはら) 勝胤(かつたね) 氏 株式会社セブン&アイ・ホールディングス 取締役執行役員 事業システム企画部 シニアオフィサー 兼 システム管掌
2016	基調講演	失敗を防ぐマネジメントから 成功を続けるマネジメントへ	芳賀 繁 氏 立教大学 現代心理学部心理学科 教授、博士 (文学、京都大学)
	特別パネル ディスカッション	自動運転、運転支援における 品質保証はどうあるべきか？	伊藤 良 氏 トヨタ自動車株式会社 電子制御基盤技術部 制御プロセス改革推進室長  福島 正夫 氏 日産自動車株式会社 R&Dエンジニアリング・マネージメント本 部 グローバル技術渉外部 技術顧問  関口 守 氏 富士重工業株式会社 スバル第1技術本部 先進安全設計部 部長  横山 利夫 氏 株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 上席研究員  進矢 義之 氏 マツダ株式会社 統合制御システム開発本部 上席研究員  モデレータ: 森崎 修司 氏 名古屋大学 大学院情報科学研究科 情報システム学専攻 ソフトウェア論講座 准教授 ソフトウェア品質シンポジウム2016委員長



# 《過去の実績》

## ソフトウェア品質シンポジウム 基調講演／特別講演

年		タイトル	講演者(敬称略 所属、役職は講演当時)
2015	基調講演	変わりつつあるシステム品質 ～世界で起きている開発方法論の革新～	白坂 成功 慶應義塾大学 システムデザイン・マネジメント研究科 准教授
	特別講演	JR東海の鉄道事業運営を支える 情報システムの取り組み	東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部情報システム部
2014	基調講演1	ビジネスが変わる・・・品質が変わる	横塚 裕志 東京海上日動システムズ 顧問
	基調講演2	リスクマネジメントのための失敗学 ---再発防止と未然防止---	濱口 哲也 東京大学 特任教授
2013	基調講演	ソフトウェア品質リスクと品質向上技術戦略	東 基衛 早稲田大学 名誉教授
	特別講演	進化するIT組織と開発スキーム ～リクルートのサービス開発の事例紹介とともに～	米谷 修 株式会社リクルートテクノロジーズ 執行役員CTO
2012	基調講演1	スバルの智能化と“ぶつからないクルマ？” アイサイト	樋渡 穰 富士重工株式会社 スバル技術研究所 担当部長
	基調講演2	顧客歓喜に向けてー品質要素評価論と 重点品質要素の推移論ー	狩野 紀昭 東京理科大学 名誉教授 株式会社小松製作所 取締役

**是非、貴社からのお申込をお待ちしております。**

ご不明な点はお気軽にお問合せください。

**【ソフトウェア品質シンポジウム事務局】**

**〒166-0003東京都杉並区高円寺南1-2-1**

**一般財団法人 日本科学技術連盟**

**TEL: 03-5378-9813 FAX : 03-5378-9842**

**E-mail : [sqip-sympo@juse.or.jp](mailto:sqip-sympo@juse.or.jp)**